

よつこぞ澤田美術館へ

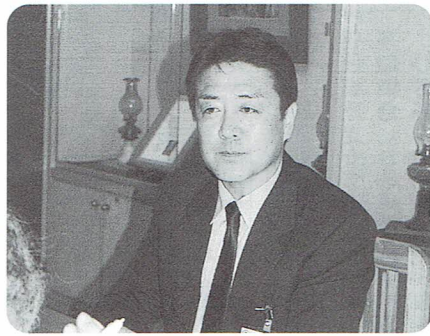
熱海市立澤田政廣記念美術館長

相磯 あいそ

浩 ひろし (高34)

年4〜5回の企画展を催し、
 葦高生や同窓生の来館に期待を寄せている館長を訪問した。

乱舞する桜の花びらが、フロントガラスに当たって飛んだ。車は、丹那をのぼり、熱海へ下った。通り過ぎないように気を付けて、梅園の手前の美術館入り口に入った。澤田政廣氏(中18)の文化勲章や熱海市名誉市民などの関係資料がいっぱい展示されている一室で取材した。



美術館にて

館長に就任して精力的な運営の1年が過ぎた。その運営には学芸員として培った力量が発揮されているのだが、高校時代も美術面で活躍していたのだろうか。当時の資料によると、葦高入学は、マラソンで女子生徒が亡くなるという痛ましい出来事があった年だ。驚いたことに、その龍城クロスカントリー(23km)で当時1年生の彼が優勝を飾っている。

葦高では美術部だったですか
 相磯 いえ、特に何も…。運動が

龍城山下のなかまたち

好きだったので卓球部に入りましたが、中途入部ということもあり、女子部員にも一度も勝つことなく1年ほどで退部してしまいました(笑)。…ただ、1年の時、澤田先生の文化勲章受章記念講演が葦高であり、講堂の後ろの方でお聞きしました。先生の肉声をお聞きしたのは、それが最初で最後です。

後で思えば運命の出会いの始

まりだったのかも。大学は？
 相磯 小中学生の頃から美術は好きで得意でした。で、静大教育学部に入り、美術教員養成課程を専攻、美術理論を学びました。西洋の絵画が分かりにくくなるのはセザンヌあたりが分岐点のように思い、セザンヌで卒論を書きました。でも教員にはならず大学院へ進み、学びました。そこで学芸員の資格も取得することが出来たのです。

その資格が役立つのは…

相磯 この美術館では『澤田政廣生誕百年記念展』の計画が進行中でした。ところが他所から作品を借りることを始め、諸々の面で学芸員のいない事の都合が生じ、市で最初の学芸員として採用していただいたのです。

これも運命的な出会いだったですね。それ以後のことを…

相磯 当時は澤田先生のご事情からないことばかりでしたが、以来ずっとこの美術館勤めをする中で澤田先生について勉強を積み、先生の資料収集や調査研究、企画展示等の仕事に携わってきました。

では館長になったからといって特にプレッシャーもないでしょうと言っと、「澤田先生には、母校が

同じ葦高、生まれが同じ熱海市ということ、すごく親近感を覚えます」と。他所にある澤田作品のこと、澤田氏の経歴、業績、語録、考え方等、いろいろ話してもらったが、きわめてよく熟知しており、館長としての自信がうかがえた。今後の企画展について聞いた。

相磯 保管されている約六千五百点(彫刻約二百点)を工夫して企画展示していきます。年4回程度企画展をします。今(4月)は『澤田政廣風景画展』を始めたところ。6月以降は『彫刻とその下絵展』を予定しています。

館の運営で思うことは…

相磯 入館者が増える方策を考えていきたいです。葦高生を始め、多くの高校生に来てもらいたい。若い人や子育て中の親子にも呼びかけていきたいと思っています。

外へ出てからまた質問しますが、橋がかかるとのことか。

相磯 1年のうちでも最も入館の多いのは梅まつりの時です。なのに梅園から美術館へ来るには、急な階段ですから、特にお年寄りには不向きです。ところが、館の南東側と梅園とを結ぶ橋の工事が始まり、秋に完成予定です。梅園と美術館とをセットで考えたいです。

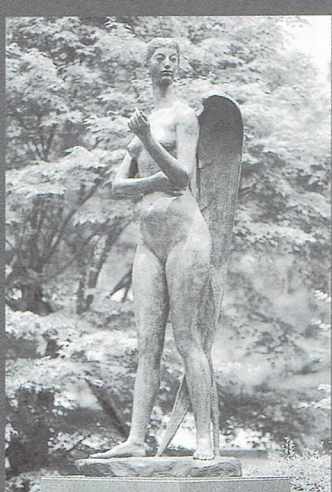
相磯館長は飒爽と橋の工事現場へ案内しながら、そんな展望を話してくれた。その言動には、館長としての貫禄がうかがえた。

さらに、「熱海市の名誉市民としてその業績が後世まで伝えられていくように頑張ります」と、力強い口調で語った相磯館長が、頼もしくまぶしく感じられた。

文責 石井宏樹(高11)

彫刻の美術館

詩情あふれる彫刻の世界



フランス「蓋物(そうぶつ)」(1960)

熱海梅園
 熱海市立 澤田政廣記念美術館
 Sawada Seiko Memorial Museum

澤田政廣記念美術館パンフレット

熱海市HP <http://www.city.ataami.shizuoka.jp/>